

マスタープラン 2017、文科省ロードマップ 2017 関係のメモ

＊日本学術会議 「学術の大型研究計画に関するマスタープラン 2017」

大規模研究計画、大型施設計画

＊文部科学省「学術研究の大型プロジェクトの推進に関する基本構想 ロードマップ 2017」

(文部科学省 科学技術・学術審議会 学術分科会 研究環境基盤部会 学術研究の大型プロジェクトに関する作業部会 (2017; 主査: 小林良彰 (慶大法))

学術会議マスタープラン2017の採択数

＊学術会議全体

学術大型研究計画179件 (区分 I 163件、区分II16件)、ヒアリング課題65件、
重点大型研究計画28件

— 文科省ロードマップ採択7件

＊物理学関係

学術大型研究計画29件 (区分 I 24件、区分II5件)、ヒアリング課題7件、
重点大型研究計画5件

— 文科省ロードマップ採択4件

＊物一関係

学術大型研究計画5件、ヒアリング課題1件、
重点大型研究計画1件

— 文科省ロードマップ採択0件

— 文科省ロードマップ採択課題7件は財務省へ予算要求されたが、実際に予算措置されたものはゼロ。

学術会議内のマスタープラン審査体制

「科学者委員会」

「学術の大型研究計画検討分科会」

各分野毎の「評価小分科会」

ヒアリング ; 「重点大型研究計画審査小委員会」

＊マスタープラン2020の公募が行われるかどうかについては、未定。

＊物性委員会 (幹事会) で、マスタープランに対する物性分野としての今後の対応が議論されている (学術会議から、松尾、森両氏が幹事会メンバーとして参画)。